

タジキスタン日本語弁論大会

応募要項

2019年3月2日(土) 10:00-15:00

ロシア・タジク・スラブ大学 大ホール

Г.Душанбе, ул. М.Турсун-заде, 30
M.Tursunzoda str., 30, Dushanbe

《初級朗読の部》

■応募条件

1)以下の日本語学習機関に所属し、日本語を母語としない者

- ・タジキスタン国立言語大学
- ・ロシア・タジク・スラブ大学
- ・パンジャケント教育大学
- ・ホタム P.V

2)連続した日本滞在歴が1年を超えない者

3)高等教育機関での日本語学習歴が1年を超える者は参加出来ない。

《上級弁論の部》

■応募条件

- 1)タジキスタン在住で日本語を母語としない者
- 2)連続した日本滞在歴が2年を超えない者
- 3)過去に本大会で優勝した者は参加できない。

■応募方法

応募締切日 2019年2月8日(金)午後2:00

1)参加を希望する者は以下の書類をメールで送付すること。手書き書類の提出は認めない。

- ・応募フォーム(別紙2)
- ・弁論原稿(MS mincho, 11 ポイント)

2) 送付先

Title:【Speech contest】●●●●(氏名)

To: support@db.mofa.go.jp

■出場者選抜方法

1)各教育機関からの出場枠は以下のとおり。

- ・タジキスタン国立言語大学:8名
- ・ロシア・タジク・スラブ大学:6名
- ・パンジャケント教育大学:2名
- ・ホタム PV:4名

2)各教育機関は、学生の日本語能力を総合的に考慮し、上記枠内で出場者を選抜する。

3)出場者を選抜した各教育機関は、応募フォーム(別紙1)に必要事項を記入し、古屋専門調査員宛に提出すること。

■出場者選抜方法

タジキスタン日本語教師会によって一次審査が行われる。一次審査の結果は2019年2月15日(金)までに、メールまたは電話で直接応募者に通知する。

【朗読・弁論テーマ】

初級朗読の部

各教育機関が指定する文章の朗読(暗唱)を行う。

上級弁論の部

テーマは自由。

【審査基準】

初級朗読の部

項目	審査基準
表現力	声の大きさ、話す速度、間のとり方等を工夫し、聞き手を魅了したか。
音声	発音、イントネーション、アクセントが適切か。
態度	発表の態度は適切か(姿勢、視線など)。全体的な印象はどうか。

上級弁論の部

項目	審査基準
内容	内容に深さがあり、主旨が明確か。
独創性	自分の意見や感想を盛り込んだ個性的な内容であるか。
表現力	声の大きさ、話す速度、間のとり方等を工夫し、聞き手を魅了したか。
音声	発音、イントネーション、アクセントが適切か。
質疑応答	的確にわかりやすく、内容のある応答をすることができたか。

【制限時間】

初級朗読の部:3分

3分を超えた場合、3分30秒で減点。その後4分でさらに減点(4分で打ち切り)。

上級弁論の部:5分

5分を超えた場合、5分30秒で減点。その後5秒ごとに減点していく(6分で打ち切り)。

【注意事項】

- ・原稿の持ち込み、小道具の使用は認めない。
- ・提出後の原稿は訂正・差し替えを認めない。
- ・特定の政党や宗教、団体、人物、思想を賞賛または否定してはならない。
- ・上級弁論の部においては、スピーチ終了後にスピーチの内容に関する質疑が日本語で行われ、審査の対象となる。
- ・参加のための交通費や宿泊費は、参加者が負担する。
- ・大学への入構に適した服装を着用すること。

【表彰】

入賞者には賞状及び賞品が授与される。

【実施機関】

主催：タジキスタン日本語教師会
ロシア・タジク・(スラブ)大学
JICA タジキスタン事務所
在タジキスタン日本国大使館